

堀込彰一 議員

会派 公明党

命を守る交通安全！ 自転車ルールとマナー

問 草加市は交通事故が県内でも多く、人身事故件数のうち約半数が自転車・歩行者が関係している。死亡者の半数は年齢65歳以上の高齢者であり、その7割以上が自転車もしくは歩行者であった。草加警察管内で4月から6月の2か月間で、2件の交通死亡事故が発生し、被害者はいずれも自転車に関係したものであった。その上で、警察

と連携した市の取組は。

答 広く交通安全意識の向上に努めるとともに、注意喚起看板を設置するなど、通行者一人ひとりに向けた啓発に取り組んでいる。

交通ルールを正しく理解し遵守するよう、草加警察署及び交通関係団体と連携し、啓発活動に取り組んでいく。



田中宣光 議員

会派 自由市民

メタバースPTを つくって研究を！

問 メタバースを活用したにぎわい創出の取組を進めるべきでは。

答 草加市のデジタル化を推進していく中で、メタバースの利用について研究を進めながら、さらなる情報発信やにぎわい創出に向けた手段として検討を行っていく。

問 メタバースプロジェクトチームをつくって研究してはどうか。山川市長の見解は。

答 情報発信やにぎわい創出につながる有効な手段の一つになると考えている。今後はメタバースに関する先進自治体の取組事例などを調査する中で、実施方法や庁内体制の在り方について研究を行っていききたい。



藤原みどり 議員

会派 公明党

子どもの声を反映させた 公園整備事業を！

問 市民にとって大切な憩いの場所である公園。市内には338か所の公園が存在し、その維持管理に対して、感謝申し上げたい。花栗第2児童遊園の改修整備事業の今後のスケジュール及びコンセプトは。

答 令和5年度に用地の買戻し並びに改修整備工事を行う予定。12月と2月に公園整備検討会を開催予定。

コンセプトは「幼児から大人まで幅広い世代が居心地よく過ごせる公園」。

問 今後の新規公園整備時における検討会への子どもたちの参加に対する考えは。

答 検討会開催の案内で子どもがいる家庭の参加を呼びかけるとともに、庁内関係部局と連携し、参加を促す方策等について検討を行っていききたい。



森覚 議員

会派 公明党

带状疱疹ワクチン接種 への助成について

問 50歳代から発症率が高くなり、80歳代までで約3人に1人が発症すると言われる带状疱疹。その発症または重症化を予防する効果があるとされるワクチン接種費用への助成について、市の考えは。

答 ワクチン接種の効果や予防の必要性、健康管理の必要性などの周知啓発に努めていく。助成については、現在、厚生労働省の厚生科学審議会にて、带状疱疹ワクチンの効果や安全性、定期接種化に向けて議論がなされているので、国の動向等を注視していききたい。



川崎久範 議員

無所属

リスキリング・ 学び直しの推進を！

問 働く世代の転入が多い草加市だからこそ、リスキリング（仕事において価値を出し続けるための新しい知識の習得）、スキルアップのための学び直し、さらには生涯教育にも積極的に関与していくことが、多くの皆様のニーズに応えることにつながると考えられるが、そのための環境整備、公的支援に対する考えは。

答 教育振興基本計画を基に、学びの成果が発揮される生涯学習の推進を図っている。

獨協大学オープンカレッジでは、簿記やファイナンシャル・プランニング技能検定など、仕事に生かす取組も進めており、さらなる環境整備を構築していく。



並木正成 議員

会派 SOKA新政

教育委員会の 組織改革について

問 教職員の資質向上は、児童・生徒の学力向上・健全育成を推進していくためには、欠かせない。教育委員会事務局組織の課・係の再編、教育センター設立に向けた考えは。

答 教育を取り巻く外部環境の変化等に応じて機動的に対応してきたが、今後も、新たな課題に向けた取組を推進するため、既存事業の見直し、

専門的知識を有する職員の配置、各課、各係の再編などの実施体制の検討が必要である。教育センターについては、教育支援室の機能を充実・強化させ、教育センターの機能が十分発揮できるよう、関係部局と連携し、整備を進める。

